

2023年10月30日

商品関連市場デリバティブ取引
証拠金算出方法の変更について

お客様各位

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
商品関連市場デリバティブ取引の証拠金につきましては、日本証券クリアリング機構（JSCC）が算出する証拠金所要額を基準に当社が設定しておりますが、2023年11月6日（月）の取引日分より、証拠金所要額の算出方法が現在の「SPAN方式（※1）」から「VaR方式（※2）」に変更されます。

- （※1）SPAN方式は1988年に米国の取引所CMEが開発した、非常に単純化された16通りのシナリオにより証拠金の計算をする方式です。
- （※2）VaR方式は特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合に、将来の価格変動リスクにより一定の確率の範囲内で予想される損失をカバーする額（想定損失相当額）を計算する方法です。1250超の大量データを用いて必要となる証拠金を統計的に計算する方式です。

取引証拠金計算方法についての詳細は以下のサイトをご覧ください。

[先物・オプションの取引証拠金の計算方法が変わります ～SPAN方式からVaR方式へ～ \(jpx.co.jp\)](https://www.jpx.co.jp)